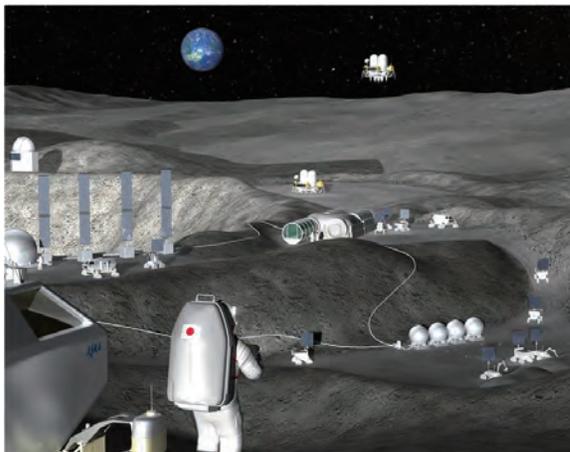


## 自動・自律型探査技術

将来の月あるいは火星表面に構築される有人拠点に必要な建設技術や活動を支えるインフラとなる技術の獲得を目指します。月や火星には人を多数送りこめないことから、拠点の建設は原則無人で行う必要があります。地球からの全指令型システムから脱却し、現地で自身の位置や周囲情報の収集・認識を行い、効率的に活動するための技術の獲得が課題です。その実現には、ICT技術や環境認識技術、AI技術等の様々な技術が必要であり、地上で実績のある技術の適用が期待されます。そして、ここで作り出した技術により、人と機械を効率的に組み合わせることで、地上においても、遠隔地作業の新たな展開を目指します。



月での無人による有人拠点建設のイメージ図

